

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	田中 政巳、専任教員				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の考察を、各研究グループで議論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。
 研究内容の説明ができる。
 研究内容に関して討議することができる。
 実験、観察、調査で得られた結果について討議し、文章にまとめることができる。
 研究内容・成果をスライドにまとめて発表することができる。
 研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

研究に取り組む態度、研究の進め方、作成した論文および研究発表等を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修「論文の書き方・まとめ方」第一出版
 日本栄養改善学会監修「初めての栄養学研究論文」第一出版
 村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
 国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
 ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミの指導教員により授業実施日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討議するよう心がけること。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究・卒業論文の概要	配属ゼミの決定、配属ゼミの専門・研究内容について
2	卒業研究・卒業論文の概要	卒業研究の進め方について 卒業論文の提出：1月初旬、卒業研究発表：2月下旬（予定）
3	卒業研究・卒業論文の概要	卒業論文の構成について 卒業研究における倫理について
4	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの決定、研究方法の検討（グループワーク）
7	卒業研究の実施	研究テーマ（グループ研究、個人研究）をゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究計画の作成（グループワーク）
8	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
9	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	前期卒業研究における進捗状況の報告（中間報告）（グループワーク）
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画の再検討と見直しを行う。後期卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	田中 政巳、専任教員				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の考察を、各研究グループで話し合いながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。
実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。
研究内容を説明、討議することができる。
研究内容・成果を発表することができる。
研究内容・成果を論文としてまとめることができる。
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

研究に取り組む態度、研究の進め方、作成した論文および研究発表等を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修「論文の書き方・まとめ方」第一出版
日本栄養改善学会監修「初めての栄養学研究論文」第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。卒業研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミの指導教員により授業実施日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討議するよう心がけること。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	後期研究計画の確認。研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
6	卒業研究の実施	実施した卒業研究の内容・成果をまとめ、報告を行う。卒業研究の内容・成果の論文化（グループ研究論文、個人研究論文）の検討（グループワーク）
7	卒業研究の実施	グループ研究論文の作成（グループワーク）
8	卒業研究の実施	グループ研究論文の作成（グループワーク）
9	卒業研究の実施	グループ研究論文の作成（グループワーク）
10	卒業研究の実施	個人研究論文の作成
11	卒業研究の実施	個人研究論文の作成
12	卒業研究の実施	個人研究論文の作成
13	卒業研究の実施	卒業研究発表資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク）
14	卒業研究の実施	卒業研究発表資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク） 発表用原稿の作成
15	卒業研究の実施	卒業研究発表（口頭発表、ポスター発表）の練習（グループワーク）